

新型コロナウイルス感染症後遺症アンケートの誤送付について

1 主旨

新型コロナウイルス感染症の後遺症アンケート調査の実施にあたり、陽性者ではない区民246名に調査票を誤送付していたことが判明したため、その経緯と今後の再発防止策について報告する。

2 事案の概要

(1) 調査の概要

区内で初めて新型コロナウイルス感染症が発生した令和2年2月から令和3年4月までに陽性となった区民へ後遺症のアンケート調査を実施し、後遺症の症状やその程度、期間等を収集・分析して区内医療機関等と共有し、今後の後遺症の対策に役立てることを目的としたものである。

アンケート調査のスケジュールは以下の通り。

- ・調査票発送 7月16日(金)
- ・調査票回答期限 8月6日(金)
- ・調査報告書納品 10月下旬予定

(2) 誤送付の経緯

- 7月8日(木) 調査対象の9,205名分の発送用宛名ラベルを作成し、委託業者へ引き渡した。
- 7月16日(金) 委託業者から調査対象者へ調査票等を郵送した。
- 7月19日(月) ・調査問い合わせ先の「せたがやコール」から、2名の区民から新型コロナウイルス感染症の罹患歴がないにもかかわらず調査票等を受領した旨のFAXを地域保健課が受領した。
・地域保健課へも2名の区民から同様の問い合わせがあった。
・上記問い合わせを受け、調査対象者のデータを再確認したところ、新型コロナウイルス感染症に罹患していない246名の区民に調査票等を送付していたことが判明した。
・問い合わせのあった4名の区民に架電し、謝罪を行った。
- 7月20日(火) 調査票を誤送付した246名の区民に謝罪文を送付した。

3 誤送付の原因

本調査の対象者データは「新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム」(以下「HER-SYS」)から抽出して作成した。

HER-SYSは全国の保健所、医療機関が入力できるシステムであるが、都内保健所においては陽性者の情報に限って入力する運用を行っている。

一方、医療機関や他府県の保健所では、濃厚接触者やPCR検査受検者など陽性者以外の情報を入力している場合があり、本件はこれらアンケートの対象外となるデータを除外せず、調査対象に含めて発送したことで誤送付となってしまったものである。

4 今後の再発防止に向けた対策

HER-SYSからデータ抽出を行う場合は、抽出対象者の属性の確認を徹底し、必要なデータのみを抽出するよう運用ルールの遵守を徹底する。

また、抽出されたデータが必要かつ十分なデータであり、当該データのうち、不要なデータを抽出していないか、所管課長の指示のもと、複数の職員で十分に確認する。